



主な内容

- 第1回臨時総代会開催
- 由仁地区自治区長・農事組合長会議
- 営農技術情報
- 青年部がスノーメッセージを製作
- 野原信子さんが家の光全国大会に出場
- 各生産部会定期総会・栽培講習会
- 営農技術懇談会開催
- 道央圏農業新技術発表会
- 各地区の作業風景

...etc

～青年部スノーメッセージ製作～

2月16日、青年部によるスノーメッセージの作成が行われました。

今年は「ECO米スター★」で、安心・安全なお米を生産していることと、環境にやさしい農業者であることの誇りが込められており、JAそらち南青年部の3年目の決意を表しました。

小麦貯蔵施設新設議案が可決

第1回臨時総代会開催

2月25日、第1回臨時総代会が本所3階大会議室で開催されました。今回の臨時総代会は平成22年度補正予算の強い農業づくり事業・食料自給率の向上対策による固定資産の取得について審議されたものです。

2月7日には栗山・由仁両地区で事前説明会が開催されました。栗山地区の麦作の現状やサイロ設置によって見込まれる効果や施設の概要、総事業費やJAの負担金額、施設の目的と効果等が総代の皆さんに説明されました。総代会当日は書面による採決となり、賛成319票、反対10票で、議案は可決・承認されました。



事前説明会の様子(由仁地区)



事前説明会の様子(栗山地区)

由仁地区でも水稻仮配分を審議

自治区長・農事組合長会議開催



審議に臨む皆さん



会議全体を通じての質問を語る中田支所長

2月4日、平成23年産米の生産目標数量及び配分に係る自治区長・農事組合長会議が支所3階大会議室において開催されました。

平成23年産米生産目標数量及び配分、各自治区水稻作付実施予定面積の集計、農業者戸別所得補償制度対策実施計画書及び関係書類の提出について説明があり、出席された皆さんは資料に目を通しながら担当職員の説明に耳を傾けていました。

最後に、各自治区別の水稻作付実施予定面積の報告と実施計画書の提出について、日程・提出先等が再度確認されて閉会しました。

宮農指導課のページ

「施肥の適正化を目指す

ハンドブック」を印刷中

作物の安定生産には施肥技術が非常に重要です。肥料を無駄なく効率的に使うには、土壌に保持されている養分量を評価し、作物の生育に必要な養分を過不足無く施肥することが基本になります。

当JA管内の土壌診断結果を集計すると、pHが低い土壌、リン酸やカリが多量に蓄積した土壌が目立ち、施肥の適正化は喫緊の課題になっています。

そこで、昨年全面改定された「北海道施肥ガイド」のJAそらち南版を作成し、組合員の皆さんに、ガイドが示す施肥標準と自らの施肥実態を比較して頂くことにしました。3月下旬までに皆さんにお届けする予定です。

「融雪促進と雪上心破を

組み合わせた排水対策を」

一月上旬から中旬の記録的な大雪が、まだたつぷりと田畑に残っています。この雪をいかに早く始末するかが、その後の農作業に非常に大きな影響を及ぼします。

まずは、融雪剤を散布して融雪を早め、雪上心破によって融雪水を排除し、一日でも早く畑を乾かすことを考えましょう。

雪上心破では、耕盤層より深い位置に切り込みを入れることが、融雪水をスムーズに排除するポイントです。

「粉状そうか病に注目」

平成十七年に十勝地方で確認された「ジャガイモ塊茎褐色輪紋病」は、「粉状そうか病菌」が媒介するウィルス病で、道内における分布拡大が注目されていました。

今年一月の、北海道農業試験会議で調査結果が報告されました。

調査は全道の食・加工用、澱粉用の畑を対象とし、かなり低率ながら、調査を行った全ての地域で病原ウィルスを確認したという内容です。病原ウィルスを保菌した



粉状そうか病菌を持ち込まないこと、粉状そうか病の防除

に努めることが、これまで以上に重要になりました。

「子実コーンの取り組み」

平成二〇年から試験を開始した、飼料用トウモロコシの実穫り栽培（面倒なので子実コーンと言つことにします）ですが、昨年は多くの作物が高温と多雨の影響を受けただ中で、安定した生育と収量がありました。

生産者	栽培面積	反 収
粒 里	342a	759.8kg
大 場	180	868.9
河 村	110	929.4
沢 田	50	889.2

二月中に子実の出荷が終了しました。間もなく精算できますので、もう少しお待ち下さい。この取り組みは今年も継続しますので、希望される方はお知らせ下さい。

なお、子実収穫後の茎葉をカッティングソーラーで地中に埋め込み、排水促進を図る技術の現地実



証研究を、農業開発公社、農村工学研究所とともに、農水省の事業に応募中です。採択されると、子実コーンの取り組みが容易に展開できます。ご期待下さい。

「注目したい新品種」

② 秋まき小麦『ゆめちから』平成二一年、北農研センター発の品種で、「縞萎縮病」に非常に強いことと、秋まき小麦でありながら「超強力粉」で、製パン適性が高いのが特徴です。栽培上、注意すべきことがいくつかありますが、縞萎縮病の被害が大きい畑での利用価値は高いと思われます。今年度から道内で採種栽培が始まります。外見적으로는、春まきのように長い毛があるのも特徴です。

（文責・技術アドバイザー尾崎政春）

青年部スノーメッセージ完成

2月16日、青年部によるスノーメッセージの製作が行われました。スノーメッセージとは、安全・安心な農畜産物の生産にける農業者の心意気を消費者にアピールするために空知管内のJA青年部によって実施される活動のことで、18年目を迎えた今年は、「スノーメッセージinそらち2011」と銘打たれ、管内各青年部で実施しています。

JAそらち南青年部は、今年も青年部執行役員が栗山中里の農産物検査場の敷地内において、タイヤショベルで雪を集めて整地し、カラースプレーを吹きかけて安心・安全なお米の生産者であり、かつECOの「マイスター（名人）」であるというメッセージを完成させました。

作業終了後、製作に携わった皆さんは、メッセージが刻まれた雪の丘の頂上に立って記念撮影し、安心・安全な農畜産物の生産に全力で取り組むことをあらためて誓いました。

完成したメッセージは縦5メートル、横11メートルの大きさで走行中の自動車からも見やすく、およそ10日間にわたってメッセージに込められた青年部員の皆さんの熱い思いがたくさんの人々に伝わったことと思います。



タイヤショベルの操縦もお手のもの



息もピッタリの共同作業



下書きにも確認を怠らない



スコップで斜面を丁寧に整地



最後の仕上げ作業



下書きに沿ってスプレーを吹きつけ

〜野原信子さん（富士）が会長賞〜

家の光全国大会体験発表



スクリーンを用いての発表



報告に訪れた野原さん

2月8日、第53回全国家の光大会が横浜市のパシフィコ横浜国立大ホールで開催され、全国から2,500人以上が参加し、JA運動の仲間を増やして協同の輪を広げること、日本農業やJAの役割への理解促進の実践などを申し合わせ、今後の活動への士気を高めました。

前日には、都道府県代表による家の光記事活用体験発表の予選会が東日本・中日本、西日本の3ブロックに分かれ実施され、東日本の部で北海道代表として出場した野原信子さん（富士）がトマトジュース作りに取り組んできたこれまでの経緯や苦労、喜びなどを語り、家の光協会より会長賞が授与されました。

野原さんは、8日に行われた各ブロックから選出された6名による本選への出場は惜しくも逃しましたが、「全国各地の方々の先進的な取り組みを知ることができ、今回の全国大会は非常に有意義な機会になりました」と語っていました。

〜手軽な材料で簡単に〜

女性部エコカゴ作り講習会

2月16日、女性部でエコカゴ作りの講習会が本所1階第3会議室で行われ、女性部副部長の窪田智子さん（古山）が講師を務め、参加した女性部の皆さんがエコクラフトを材料に小さいカゴを作りました。

市販のエコクラフトをハサミで指定された長さに切り分けて、糊付けや仮止め、編み込みなどの工程を丁寧に確認しながら進めていき、およそ3時間掛かり、カゴが完成しました。

初めてカゴを作る方も多かったため、最初のうちは作業がなかなかかからないようでしたが、すぐに慣れて周りの方達と談笑しながら楽しくカゴを作成していました。

完成したカゴの出来栄に皆さんも満足したようで、「家でも早速作ってみる」、「他の形の物にもチャレンジしたい」と早くも次の作品の構想を考えていました。



講師を務めた窪田副部長



楽しみながらも真剣な作業風景



←出来上がった作品

〜新役員就任〜

各生産部会で定期総会開催

1月下旬以降、各生産部会では定期総会が次々と開催されました。それぞれ、平成22年度の事業報告や平成23年度の事業計画・収支予算案が審議・承認され、また、役員の任期が2年になっている生産部会が非常に多いことから、3年目となる今年は各生産部会で新役員が選任されています。写真を掲載した以外にも栽培講習会は多数開催されており、平成23年度の各生産部会の新役員については、今後誌面に掲載する予定です。



2月10日
そらち南玉葱振興会定期総会



1月27日
栗マロン研究会定期総会



2月18日
和牛生産組合定期総会



2月4日
そらち南花き生産組合定期総会

〜栽培上の注意点を再確認〜

各作物の栽培講習会を実施



2月17日
サラダ玉葱栽培講習会



2月15日
長芋栽培講習会



2月18日
メロン栽培講習会



2月16日
長葱栽培講習会

春の繁忙期まであと1ヶ月程となり、播種や定植を控えている作物も多いことから、2月から3月にかけて様々な作物の栽培講習会が実施されました。土作りから育苗、施肥、防除、温度管理、灌水など多岐にわたる項目で栽培上の注意点が確認され、出席した生産者の皆さんも真剣に内容を確認していました。

『主要作物の栽培管理を再確認』

営農技術懇談会開催



普及センターによる説明の様子



スクリーンの図を見つめる出席者の皆さん

2月23日、由仁支所3階大会議室において営農技術懇談会が空知農業改良普及センター南東部支所（以下、普及センター）の主催で開催され、一部の作物では播種・定植が始まっており、また、春先の農作業に備えた準備に忙しい中、大勢の組合員の皆さんが出席しました。

懇談会は水稲、畑作、園芸のそれぞれの技術対策について普及センターから昨年の作況や病害虫発生メカニズム、具体的な防除方法など多岐に亘る詳細な説明がありました。

出席した皆さんも、スクリーンの図を見ながら真剣に説明を聞き、様々な注意点を確認し、また、今回の技術懇談会で得た情報を新たに春からの農作業に活用することが出来ないか考えておられるようでした。

『様々な事例に興味津々』

平成23年度中央圏農業新技術発表会

2月24日、栗山町カルチャープラザ「Eki」で平成23年度中央圏農業新技術発表会が開催され、当JA組合員の皆さんも多数出席されました。

発表会では、中央農業試験場の担当研究職員の方々が課題ごとに試験結果や普及事例を紹介し、また、全道各地での栽培試験や病害虫発生状況などを紹介するパネルも多数展示されました。

当JAの組合員の皆さんからも、「すぐには実行に移せないが、面白い話を聞くことが出来た」、「消費者が農産物に求める安全・安心は当然として、さらに付加価値をつけるために今日の事例を参考にしたい」、「展示してあったパネルの中にドクオイのものもあった。うちも去年薬が効かなかったので、今年はどうしようかまだ考えている」等と、様々な感想や意見を口にしていました。



発表を聞く参加者の皆さん



様々な事例を紹介するパネルの数々

平成23年度 耕地整備事業 施工単価表

1. ブルドーザ作業

(税抜価格) 単位: 円

機 種	単位	H 2 3 年施工料	備 考	H22施工料
6t級 湿地 (D30Pクラス)	時間当	7,000		7,000
16t級 湿地 (D60Pクラス)	時間当	11,700		11,700
6t級超湿地 (D30Pクラス)	時間当	11,700		11,700

2. 心土破碎作業

(税抜価格) 単位: 円

機 種	単位	H 2 3 年施工料	備 考	H22施工料
16t級 湿地 (D60Pクラス)	時間当	15,000		15,000

3. バックホー (ユンボ) 作業

(税抜価格) 単位: 円

機 種	単位	H 2 3 年施工料	備 考	H22施工料
0.4m級 (直掘)	時間当	8,500		8,500
0.4m級 (横掘)	時間当	8,500		8,500
0.7m級 (直掘)	時間当	10,500		10,500

4. 重機運搬費

(税抜価格) 単位: 円

機 種	単位	H 2 3 年施工料	備 考	H22施工料
D 6 0 P クラス	1 回当り	13,200		13,200
0.7m級バックホー	〃	13,200		13,200
0.4m級バックホー	〃	12,200		12,200
D 3 0 P クラス	〃	11,200		11,200
キャリアダンプ	〃	11,200		11,200

5. その他機種

機 種	単位	H 2 3 年施工料	備 考	H22施工料
キャリアダンプ 5 t	時間当り	7,800		7,800

お問い合わせ先: 営農部農業振興課(72-1408)

農林水産省からのお知らせ

米のモデル事業に加入された農家の皆様へ！
米のモデル事業の「変動部分」の交付単価が決まりました。

「変動部分」の交付単価

15,100円／10a

- ・ 加入者への交付額については、順次送付する「交付決定通知書」及び「交付金計算書」に記載されていますので、ご確認下さい。
- ・ 地域第八課においては、3月1日以降、交付決定手続きが終了次第既に指定されている金融機関の口座に交付金が振込まれる予定です。（交付決定通知書を地域水田協議会を通じてお渡しいたします。）

万が一、米モデル事業に加入されている方で、3月末日までに口座への入金がない場合は、お手数ですが最寄りの農政事務所地域課、又は下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

米のモデル事業の交付金について

- ① 恒常的な赤字を埋める「定額部分」(15,000円／10a)
- ② その年の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合にその差額を補填する「変動部分」の2つの支払があります。



◎平成22年産米は、出回りから1月までの相対取引価格(全国平均)から直近の流通経費等を差し引いて算定された当年産の販売価格(農家手取価格10,263円)が、標準的な販売価格(11,978円)を下回ったので、「変動部分」も支払われることになりました。

〈お問い合わせ先〉

農林水産省

北海道農政事務所 地域第八課

電話 0126-22-3261

各地区の作業風景



畑 正さん（山梨）
2月22日、融雪剤散布



新屋 孝之（富士）さん
2月17日、長ねぎは種作業



嘉屋 幸幸さん（古川）
2月26日、玉ねぎは種



井澤 達夫さん（阿野呂）
2月23日、玉ねぎは種



組合長・専務と記念撮影

組合だより新年号の新春
お楽しみクイズにおいて、見
事大賞にご当選された亀森
美智子さん（栗山町）に、大
友組合長からペア温泉宿泊
券が手渡されました。おめで
とございます。

**新春お楽しみクイズ
大賞の贈呈**

米トレーサビリティ法施行に関するお知らせ

米穀等の取引に係る情報の記録および産地情報の伝達に関する法律(米トレーサビリティ法)が昨年10月1日に施行され、「米事業者」に対して、取引等の記録の作成・保存が義務付けられました。

「米事業者」とは、米穀等の販売、輸入、加工、製造又は提供の事業を行う業者です。生産者、製造業者、流通業者、小売業者、外食事業者など、米穀等を取扱う幅広い事業者の方々が対象となります。

米トレーサビリティ法の概要

【米・米加工品の流通】



事業者間取引等の記録・保存

- 1 対象品目
○米穀(玄米・精米等) ○米粉や米こうじ、米菓生地等の中間原材料
○米飯類 ○もち、だんご、米菓、清酒、単式蒸留しょうちゅう、みりん
- 2 対象事業者
生産者を含め、対象品目となる米・米加工品の販売、輸入、加工、製造又は提供の事業(飲食業等)を行う全ての事業者になります。
- 3 情報の記録・保存
①品名 ②産地 ③数量 ④搬入・搬出等を行った年月日等 ⑤取引先名 ⑥搬入・搬出を行った場所 ⑦用途限定米はその用途を記載。
なお、②の産地は平成23年7月1日以降に記録が必要となります。

産地情報の伝達 (7月1日から)

事業者間における産地情報の伝達

対象品目を他の事業者へ譲り渡す場合には、伝票等又は容器・包装への記載により、産地情報の伝達が必要です。

一般消費者への産地情報の伝達

一般消費者へ対象品目を販売する場合には、容器・包装等への記載により、産地情報の伝達が必要です。また、外食店等で対象品目を提供する場合には、米飯類のみ産地情報の伝達が必要です。

【問い合わせ先】

農林水産省北海道農政事務所食糧部消費流通課
TEL011-642-5470

平成22年度資格試験合格者

《生命共済JA審査員》
金融部共済課

角屋 卓実

《第2種衛生管理者》
金融部共済課

村上 大

《自動車共済審査員》
《建物共済JA審査員》
《損害保険募集人》
金融部共済課

森 政徳

《毒物劇物取扱責任者》
由仁営農センター資材係

滝本 祐輔

《農業機械整備士免許2級》
由仁営農センター資材係

(MW) 鳥井 成人

《危険物取扱者(乙4種)》
由仁営農センター営農係

(MW) 富澤 演枝

《特定高圧ガス取扱主任者》
MW総務係

中井 美希

由仁給油所係

(MW) 宮本 孝

《ファイナンシャルプランナー3級》
販売部馬鈴しょ玉ねぎ係

吉野 孝則

第1回理事会報告

日時 平成23年2月18日(金) 午後3時10分
より第1回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

総務委員会報告
経済委員会報告
農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 平成22年度事業報告、剰余金処分、利用高配当及び出資配当について
議案第2号 第2回通常総代会の提出議案について
議案第3号 農協懇談会の開催について
議案第4号 平成23年度JAそらち南コンプライアンス・プログラムの策定について
議案第5号 準職員就業規則の一部変更について
議案第6号 平成23年度余剰金運用について
議案第7号 平成23年度資産(不動産・動産)の時価評価基準について
議案第8号 平成23年度借入金の最高限度額について
議案第9号 平成23年度監査計画について
議案第10号 平成23年度信用供与等・貸付金利息・債務保証利率の最高限度について
議案第11号 平成23年度不良債権の処理方針について
議案第12号 理事に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の包括承認について

3月の行事

4日 土づくり講習会(由仁地区)
14日 第1回監事会(予定)
15日 第2回理事会(予定)
16日 栗山町4Hクラブ50周年記念式典
18日 土づくり講習会(栗山地区)
21日 春分の日
22日 農協地区別懇談会(25日まで)



3月の売り出し予定 Aコープ

11~12日...Aコープ卒業おめでとう！セール第1弾
15~16日...Aコープ得の市
18~19日...Aコープ卒業おめでとう！セール第2弾
22~23日...Aコープ得の市
25~26日...Aコープ春はここまで来ています！セール
29~30日...Aコープ月末大市

A-COOP 由仁店・三川店
○三川店...毎週日曜日休み

JA共済がらのお知らせ

事故件数

1月
自動車.....32件
火災.....0件
傷害.....3件
累計(2~1月)
自動車.....382件
火災.....1件
傷害.....32件

組合員の動き

▽正組合員戸数 930戸
▽組合員数 3,591名
正組合員数 1,556名
うち法人 45名
准組合員数 2,035名
うち団体 44名
(1月31日現在)

★おくやみ申し上げます。
亡くなった方 年令 住所
生駒キミエ 95才 栗山町共和
木本 一孝 84才 栗山町中里

編集後記

今までの大雪や低温は一体何だったのでしょうか。2月になると暖かい日が続いて、気温がプラスになる日が何日もありました。JA本所前の道路にも大きい水溜りがいくつも出来て、水たまりを避けて歩くのにとて苦勞しました。水溜りを飛び越えようとジャンプを繰り返しているうちに、心の中で「俺はマリオか？」と一人ノリツコミしてしまいました。話はそれますが、あのマリオって24・25才の設定だそうで、子供のころからあつさんだと思っていた自分はそれを知ったときの驚きを今でも覚えています。さて、話は思いつきり変わりますが、現在、T.P.P.に関してそれぞれの立場から様々な意見が述べられています。私個人もタニより小さい脳ミソをフル回転させて色々と考えていますが、T.P.P.の問題は農業だけではなく、むしろ金融などより多くの人達に直接影響することが沢山あるのに、農業の問題に話をすり替えてられていると感じています。皆さんはいかがでしょう？



そらち南 くみあいだより

2011 3月号 Vol. 26

■発行 2011. 3. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷